

## 整備作業進捗状況(2005年2月)

実施項目		実績(2月)	予定(3月)
旧核燃料試験研究施設整備	1. 試験設備の解体・撤去	(完了)	
	2. F棟、S棟の整備及び保管	一部を新保管庫へ移動、残りを引き続き保管	同左
	3. 施設E及びP建屋内除染	(完了)	
	4. 土壌等建屋周辺物の撤去及び保管	施設Eの管理区域内にて汚染土壌の回収作業を実施。施設Eの周辺監視区域内に残っている基礎部分などの撤去作業及び汚染確認を実施。回収した汚染土壌の安定化作業を実施、安定化済土壌を引き続き保管	施設Eの周辺監視区域内に残っている構築物などの撤去作業及び汚染確認を実施。土壌安定化設備の除染・解体・撤去作業を実施
	5. 施設E及びPの解体・撤去	(完了)	
	6. 周辺環境モニタリング	空間線量当量率及び空気中の放射能濃度の測定、並びに地下水中のウラン濃度分析を実施	同左
	7. 新保管庫建設及び放射性廃棄物の保管	搬入済の放射性廃棄物を保管	同左
	8. その他	放射性廃棄物の量は、2月28日現在、200リットルドラム缶約150本、1.5m <sup>3</sup> 角型容器約2,750個、2m <sup>3</sup> 角型容器約830個(注参照)。2月3日付けにて使用の変更許可を取得。2月4日付けにて施設Eの一部の管理区域を解除。施設P跡地及び施設Eの跡地の一部について最終確認作業(ボーリングコア採取、放射能測定)を実施	施設E及び施設Fの管理区域を解除。使用の変更許可申請
所内全域調査	1. 所内全域の空間線量当量率測定	(完了。測定結果はボーリング地点の策定に利用)	
	2. 既存コアの放射線測定	(完了。測定結果はボーリング地点の策定に利用)	
	3. ボーリング調査	ボーリングコア採取、放射能測定作業を実施	同左
	4. 土壌のウラン・トリウム分析	既存コア及びボーリングコアの分析作業を実施	同左

注) 放射性廃棄物量を200リットルドラム缶換算で表示しますと、全体で約29,100本となります。なお、NDC社の放射性廃棄物量は、1.5m<sup>3</sup>角型容器で1,180個(200リットルドラム缶換算8,850本)です。

以上